

2021年6月7日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 神保 宇嗣

第37回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第37回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。昨年に引き続き、本年も新型コロナウイルス対策のため、対面集会ではなくオンラインの形での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合は、6月27日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2021年7月3日（土） 13時30分～15時30分

場所：Zoom を利用したインターネット会合

事前申し込み：<https://forms.gle/E6LJvGTpWWzpTqZG7>

※受付後、折返し Zoom の URL をお知らせします。

申込締切：2021年6月27日（日）24:00

主催：国立科学博物館

協力：NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・高田 悠希

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 37 回 自然史標本情報発信に関する研究会

－S-Net を動画で学び活用する－

サイエンスミュージアムネット (S-Net) 上の自然史標本等のデータが 600 万件を超え、参加機関も 100 機関を超えて本事業に携わる方も増えてきております。その中で、新規参加や担当者交代等によって、今年 S-Net のデータ提供に初めて取りかかる方も多いと思います。また、S-Net 事務局ではデータ精度の向上を目指し、ツール類やデータチェック手続の改善を続けています。その取り組みの一つとして S-Net 事務局では、システムの利用法を皆様にお伝えするため、冊子に加えて動画でのマニュアル作りを進めております。一方、蓄積された膨大な標本データの利用も進んでおり、研究や教育などでの活用例も出てきました。そこで、今回のオンライン会合では、動画を含むマニュアル類や手続きの改善といったデータ提供に関する話題と、大学の授業などデータ利用に関する話題を取り上げます。また、S-Net や GBIF に関する最新の情報についても紹介いたします。今回の会合を、データの精度向上や、今後のデータ活用に結びつけたく思います。

プログラム

- ・開会挨拶・注意事項
- ・イントロダクション：S-Net と GBIF 最新情報 神保 宇嗣 (国立科博)
- ・日本の生物多様性情報のこれまでとこれから 大澤 剛士 (都立大)
- ・S-Net/GBIF へのデータ提供に関する資料・動画のご紹介 水沼 登志恵 (国立科博)
- ・世界で使われる S-Net のデータ 神保 宇嗣 (国立科博)
- ・教養生物の授業における S-Net の紹介と活用 福田 知子 (三重大)

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み：<https://forms.gle/E6LJvGTpWWzpTqZG7>

※受付後、折返し Zoom の URL をお知らせします。